

質疑応答(トムスク)

**Q1.**

2020年1月から現在までの、トムスク地域における Covid-19 の発生状況を教えてください。

(東京都の資料"Tokyo-Covid19-Countermeasures"のスライド 3 枚目を参照)

**A1.**

ご質問いただきありがとうございます。

2021年において感染症の中で最も大きな割合を占めているのは COVID-19 感染症で 62.5%、そして市中肺炎が 19.6%です。

その年の感染症入院患者数は 28.9%増加しており、これは莫大な COVID-19 感染者数、および入院が必要な重症者数の高さに関係しています。また、同年における感染症関連の死亡率は 1.1%で COVID-19 を考慮するとそれほど高くありません。しかし、2022 年の COVID-19 感染症による死亡率は、人口 10 万人あたり 234.5 人で、2021 年の 8.9 倍に上ります。

**Q2.**

市中肺炎や急性呼吸器感染症の発生状況には、Covid-19 パンデミックの影響は見られますか。

**A2.**

ご質問ありがとうございます。

Covid-19 パンデミックの間、他の急性呼吸器感染症の発生率が減少しました。Covid-19 は新しく発生したウイルスとして、他の感染症と置き換わったと考えられています。

Covid-19 の初期感染者は、市中肺炎との合併症になることが多く見られました。2021 年に市中肺炎の発生率が低いのは、Covid-19 感染症とワクチン接種後の免疫形成によるものと見られています。

**Q3**

Covid-19 の流行下でも、法定の予防接種の実施率が 95%以上を示しているのは大変興味深いです。トムスク地域の予防接種が高い接種率を維持できている理由として考えられる理由は何でしょうか。

(日本では、法定接種はほぼすべてが個別接種で実施されています。また、2021 年度は一部のワクチン接種率に低下がみられ、その要因の 1 つとして、コロナ禍における接種控えが指摘されています。)

**A3.**

ご質問ありがとうございます。スライド P17 に表示されている高水準のワクチン接種率

は、医療従事者や飲食業者など特別なグループのみ特化したものです。この業界の従事者はワクチン接種に関する情報がなければ、働くことを許可されていません。パンデミックの間、このカテゴリーの方には国内の予防接種カレンダーに沿ってワクチン接種が進められました。一般人口のワクチン接種率に関するデータはありませんが、トムスク地域においては Covid-19 の感染拡大期間中、ワクチン接種や診察を停止していました。

#### Q4.

感染症のさまざまなデータを興味深く拝見しました。一点目に、2022年の結核による死亡率が2021年に比べて増加した理由と背景を知りたいです。二点目に、2021年、2022年の結核感染率のデータがあれば教えてください。最後に、他の感染症への COVID-19 パンデミックの影響は見られましたか。